

# 平成 25 年度事業計画

## 1. 基本方針（理事長：飯島直樹）

本年度は一般社団法人「日本商環境デザイン協会」の発足年度であり、新たな協会の指針を前進させ、一部を実行する年度と位置づけたい。「JCD の今後のヴィジョン」を具体的に策定する。委員会に参加される会員諸氏を募りたい。

<今後>の活動イメージは、「アワード事業の JCD 外への拡張」、「恒常的な展覧会のシステム作り」、「School of Design/教育事業」、「グローバルな場面の獲得/EG の国内外での深化」、「発信の抜本的改革/JCD 広報と年鑑日本の空間デザイン誌の改訂」などであり、逐次、推進・実行する。こうした実行のためには、JCD の外部との連携と相互協力が不可欠であり、多面的に開かれる公的団体として JCD はスタートする。

新法人発足に際し、協会運営をより活発にするために、組織や運営手法の改訂を順次進める予定であり、この方面についても会員諸氏のご協力を賜りたい。

## 2. 主要事業計画の概要

### (1) デザイン賞委員会（委員長：岩佐達雄）

#### （JCD デザインアワード事業）

経費等の縮小も考慮し運営を心がける。今年度から応募要項・審査要領を一部見直し、応募時の部門のわかりやすさ、また各部門での評価を踏まえ改定した。ここ数年来、ともすると低迷がちだった商業的な側面に対する意見も取り入れる。

2 次審査員は建築家やプロダクトデザイナー、アートディレクターなどの他分野の方も合わせ、当協会の所属のデザイナーとともに審査を行う。

また最終段階でのグランプリ（大賞）は非公開で決定することとした。活発で本音のところを引き出す考えであり、発表に際しては公開会場にて客観的にその模様を伝える予定である。詳細は応募要項を参照。

スケジュールは例年通りで、5月に1次審査、6月22日に2次の公開審査を東京デザインセンターにて行う。

昨年は何とか応募数が確保され予算的にも貢献した。今年から新しいシステムを構築しネット審査をおこない、多くの1次審査員参加も可能となった。必要最小限の経費にて予算構成しているが、協会自体の大変厳しい状況の中多くの応募を呼び掛けていただきたく、協力をお願いしたい。

### (2) コミュニケーション委員会（委員長：品川正之）

#### 1. 連続デザインシンポジウム事業

平成 25 年度の連続デザインシンポジウムも引き続き 200 人規模のシンポジウム開催を目指します。学生動員増について、また大阪開催あるいは名古屋開催についても検討したいと思います。内容については引き続きインテリアデザイン分野にとどまらず、広汎にクリエイティブな領域を対象にテーマを求めていくつもりです。企画・動員ともに新たな物差しで知恵を絞り事業の継続を図ります。

#### 2. 機関紙 SHOKANKYO

紙面刷新、年 2 回発刊を目標に進めていきます。

### (3) 国際委員会（委員長：武石正宣）

前期は香港での EG も無事に終了し、温故知新をテーマとした各国のセミナー、バスによるエクスカーション、総勢 30 人の学生によるワークショップなど活発な会となりました。

今期も引き続き活動を行うべく、国際部会の会議を発足致しました。特に今年は EG の開催が日本になるため、10月の後半から11月の頭の開催を目指し、調整を行おうと考えています。

(4) 財務委員会 (委員長: 太細 通)

25年度の予算については、この後(2)予算にて詳細を説明しますが、24年度の事業収支に習い、一般社団法人新年として赤字決算とならぬよう計画しました。

事業収入は、3750万円と昨年並みとし、事業支出も昨年度並みの3500万円とし、約250万円の黒字収支計画としました。

しかしながら、25年度は、事務局の池田氏の5月末退職により人件費が380万円抑えられるので、その分をSODA実行費、国際交流費、研究会費、広報費などを昨年度より増額見込んでいます。

予算計画とおりに遂行することは中々難しいのですが、目標を是非達成するべく皆様のご協力をよろしくお願い致します。

(5) 業務委員会 (委員長: 星 明臣)

4月より、一般社団法人へ移行し、団体名称も変わりました。心機一転の年です。近年の、業務委員会活動は、以下の3委員会活動に集約されております。

(1) Soda 委員会

JCDの社会貢献活動のツールです。

①各支部と連携し、Sodaのツールとノウハウの一層の普及を図る。

②こども環境学会など、他団体との連携・交流を深める。露出度を高める。

③品川・チルドレンフェスティバル (Sodaのルーツと言える) に於いて、新ジャンルへのチャレンジを試みます。

④収益に繋がる知恵・広報が課題。

(2) 賛助委員会

正会員と賛助会員とのコミュニケーションを深めることを目指しています。

Product of the year (7th)

今回から、支部賛助会員企業にも門戸を開きました。投票率は充分とは言えませんが、参加企業各社製品への認知度を高める成果は上がっております。

(3) 功労者選考委員会

芝田委員長の下、功労賞や評議員など等の候補者の、適正・的確な推挙を行っております。

1: Soda 委員会 (委員長: 新藤 力)

(Soda 事業)

今年度は、まず各支部と連携して小学校を対象とした出前授業形式プログラムの継続的な実施と、これまで実施できていない地域でのワークショップ開催、また、東北地方でのアクション、新規プログラムの開発および実施にもチャレンジしていきたいと考えています。新規プログラムとしては、2013チルドレンフェスティバルにおいて、中学生対象のワークショップとして実際に公演される演劇の舞台デザインと舞台の制作を計画しています。

Soda活動は会員の方々の講師ボランティア、賛助会員の皆様のご協力で成り立っています。毎回、本当にありがとうございます。今年度も多くの子どもたちに“創造すること”の楽しさを伝えていきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

2: 賛助委員会 (委員長: 久米任弘)

今年度は更なる正会員と賛助会員のコミュニケーションを深める施策を立案、推進いたします。

具体的活動としては

①各支部単位での相互コミュニケーション実施のためのサポート  
最新情報での各賛助会員の本部・各支部の連絡者名簿のメンテナンスを実施します。

②「JCD Product of the year 2014」の実施

8年度目の施策として更に充実をめざし、認知度UPを図ります。

過去7回実施して課題となった

- ・新しい賛助会員の新品応募の参加
- ・正会員の投票率の向上

を図るために、本年度の内容含め、アイデアを凝らすつもりです。

③賛助会員拡大の為の諸方策の立案と実施サポート

平成17年度に実施しました正会員へのアンケート（よく指定・採用される商品の企業名）

結果をベースに6年間勧誘の働きかけを継続しましたが、まだ効果が十分あがりません。せっかくの貴重なデータですので、引き続き勧誘のサポートをしたいと考えますが、前述のように日頃の仕事からの繋がりでの勧誘、情報を頂きたくお願いします。

これらの計画を更に拡大・充実するために、各支部賛助委員会を活性化していただき、支部単位での更なる交流を深めていただきたいと思います。

また、これらの活動を通じ、正会員・賛助会員の双方のメリットを明確・拡充し、新規正会員・賛助会員の拡大につなげていきたいと思います。

正会員・賛助会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

### 3：功労者選考委員会（委員長：芝田良治）

当該委員会は、平成25（2013）年度委員会主担業務として、一般社団法人日本商環境デザイン協会、特別功労賞表彰規定その他、JCD定款・施行細則に則り、正会員からの推薦を基に、平成26（2014）年度JCD特別功労賞・支部功労賞表彰候補者、名誉会員推挙候補者、評議員・顧問・参与各役職候補者等の募集・資格審査・貢献度確認・候補者推挙等を推進し、平成25（2013）年度末理事会において、前記候補者推挙/委員会答申を行う。

第25期（平成24-25年度）委員構成は、前記JCD表彰規程に則り、副理事長1名、専務理事を含む理事・評議員並びに監事の中から7名前後にて編成し、理事長の委嘱を受け、任期2年間、努める。当期欠員に関しては、補充を考慮する。

支部長会議を筆頭に、全国各支部イベント機会に積極的に参加し、各支部における候補者並びに候補者予備軍各位の活動実態把握、実績・貢献度内容の確認、等の詳細情報の収集に努め、主担業務推進時の際の参考評価資料として活用し、誤謬無き、適正な候補者人選に努める。

### （6）支部長会議（議長：加藤博正）

全国の支部長が集まり会議を行い、理事会では討議しきれない議題を全国の支部長を集め各支部の問題を含め足りない部分を掘り下げて討議をする。これからは、理事会では、討議しきれなかった懸案を討議して理事会に提案する。

### （7）支部事業

#### 北海道支部（支部長：長谷川演）

##### 活動内容

- 2013年4月17日（水）北海道支部総会・・・収支報告、活動計画、予算案承認、懇親会等
- 2013年5月8日（水）5月委員長会議・・・支部総会の報告等
- 2013年6月5日（水）6月委員長会議・・・デザインキャンプの計画等
- 2013年7月3日（水）7月委員長会議・・・デザインキャンプの準備等
- 2013年8月7日（水）8月委員長会議・・・デザインキャンプの準備、SDW計画等
- 2013年8月25・1日（土日）デザインキャンプ
- 2013年9月4日（水）9月委員長会議・・・デザインキャンプの報告、SDWの準備等
- 2013年10月2日（水）10月委員長会議・・・SDWの準備、Xmas計画等
- 2013年10月下旬 SAPPORO DESIGN WEEK

2013年11月6日(水) 11月委員長会議・・・SDWの報告、soda準備、Xmas準備等  
2013年12月4日(水) 12月委員長会議・・・soda報告、Xmas準備等  
2013年12月中旬Design Xmas Party  
2014年1月15日(水) 1月委員長会議・・・Xmasパーティ報告、鍋塾計画等  
2014年1月下旬～2月中旬 SODA 桑園小学校  
2014年2月5日(水) 2月委員長会議・・・鍋塾準備、収支状況の報告、支部総会計画等  
2014年3月上旬 鍋塾  
2014年3月5日(水) 3月委員長会議・・・収支状況の報告、予算案作成、総会準備等  
2014年3月下旬 決算準備・・・・・・・・・・本部提出書類作成、総会準備等

#### 東北支部（支部長：阿部秀夫）

平成25年度の活動方針は、一昨年の震災からの復興に力を注ぐべく、消沈しがちな会員同士の親睦及び情報交換に集中して取り組む必要がある、地区ごとの結束、並びに各地区同士のコミュニケーションを図るべく活動したい。

H25/04/中旬：第1回東北支部役員会議  
H25/04/末：復興お花見会兼賛助委員長の送別会 開催予定  
H25/07/中旬：東北支部通常総会を青森地区にて開催予定  
・地区長会議  
・通常総会  
・賛助会企業アピール  
・講師によるディスカッション  
H25/09/中旬：山形地区交流懇親会開催  
H25/11/中旬：秋田地区交流懇親会開催  
H25/12/中旬：青森地区交流懇親会開催  
H26/02/中旬：賀詞交換会開催

#### 関東支部（支部長；小田秀樹）

- \*会員の増強と活動資金を増やす方法を試みる  
支部の活動資金を増やす方法を試みる、支部会員への活動報告や広報方法を再構築してイベントへの参加を促進する。若い業界員を積極的に誘い、JCDへの参加に導いて会員増強を図る。
- (1) 特別委員会：東野委員長
    - ・本部事業のバックアップと関東支部恒例の1泊研修旅行を他委員会と協力して開催する
  - (2) 交流委員会：笈川委員長
    - ・交流員会を定期的で開催し、正会員及び賛助会員のコミュニケーションの活性化を検討推進する
    - ・夏、冬のパーティーの企画開催をする為の準備実行を量り会員増強と集客を行なう。開催告示をフェイスブックやSMS等で会員以外の集客を試みる
  - (3) 研究セミナー委員会：高村委員長
    - ・会員のみならず様々な方面から情報収集を行ない、多くの方の興味をそそるテーマを検討し一般の方も含め多くの方の参加集客を目指す。
    - ・開催場所を外部で行なう事で、JCD活動を一般の方や、賛助会員に参加していない企業へアピールする事により会員の増加促進を目指す。又、イベント会場や店舗等での開催を検討しきのあるセミナーを目指す。
    - ・賛助会員の商品紹介や会員の作品紹介を行ない会員同士の交流を促進する。
    - ・一方では廉価な交流会を行いながら、質の高い企画では参加費を調整して、運営資金の黒字化を目指す。
  - (4) 支部賛助委員会：品川委員長
    - ・委員会は月1回の開催を行ない、次記載の活動目標の推進を図る

- ・ 支部正会員及び支部賛助会員相互のコミュニケーションの活性化を図る
  - ・ 支部賛助会員の意見集約と交流を促進する
  - ・ 今期も全国賛助会員との連携を促進する。
  - ・ 関東支部の他委員会と連携して支部イベントのサポートを積極的に行なう。
- (5) メディア委員会：吉田委員長
- ・ 最新情報の更新とメルマガ発信、バックナンバーの整理及びブログの更新などベーシックな活動の構築を行なう。
  - ・ 他委員会の活動報告を連動して行なう。
- (6) 広報委員会：古川委員長
- ・ 機関誌 Net Work の年度 2 回発行を行なう。今期も廉価な方法を試みる
  - ・ 支部の行事の報告も兼ねる様に発行時期を検討する。
- (7) 省エネ CO2 削減委員会：芝田委員長
- ・ 昨年度、企画して開催出来なかった、第 5 回省エネセミナーの開催実現を図る計画を推進する。
  - ・ 空間デザインに於ける省エネ、CO2 削減施策に於いて先行する、住宅デザイン設計部門の優良作品について、セミナー等に参加して情報収集を行なう。
  - ・ 店舗、売場に於ける省エネ化実績事例の情報集約を行ない、蓄積した段階で支部正会員に情報発信を行なう。

#### 中部支部（支部長：平井 充）

##### ●活動方針

##### ①本年度は「事業活動」を活性化。特に「大イベント」を開催

1. 「大イベント」を開催して新名称と協会の PR。会員確保、正会員、賛助会員にメリットを提供
2. 「大イベント」に中部支部と縁が出来たいろいろなクリエイター、組織、団体、企業も参加して頂き、さらに交流を深めて将来の中部支部の財産、リソースとする  
(アップルストア、大須演芸場、センチュリーシネマ、ジュンク堂、ロフト名古屋、フェデックスキンコース、BC ウッド、カナダ領事館、中国領事館、カナダデザイン集団、日本色彩学会くらしの色彩研究会、ジルダール（田口あい氏）、ラカーサ、タービンインタラクティブ、ZIP FM、流行発信グループ・・・)

##### ②運営組織、担当

1. 2013 年度役員（緊急時等に決断がいる場合に代表判断をします）  
平井 充（支部長）、不破淳二（副支部長）、鳥居佳則（東海地区長）、丹羽浩之  
\*北陸地区については、平井 充より木村嘉秀正会員に都度相談等を行う
2. 中部デザイン団体協議会（CCDO）委員一部新しい会員に変更（6 月末までに決定）  
継続：理事：平井 充 副理事：鳥居佳則  
委員長：平井（新規事業委員会副委員長）、鳥居（アオード委員会副委員長）  
ナイトトーク委員／不破淳二 交流委員／深江章一 アオード委員／丹羽浩之  
組織検討委員／西川せいじ 広報委員／大藪由紀夫 新規事業委員／伊藤孝紀  
変更：（交流委員）深江章一 → 種田正人  
（広報委員）大藪由紀夫 → 亀井寿子  
（新規事業委員）伊藤孝紀 → 横井祐一（現代議員）
3. 本年度は実施事業で担当を決定。委員は主要委員、つど会員に要請  
\*中部支部総会は事務局で企画、実施。実施時の協力のみ会員に要請  
■事業委員会（委員長：大藪由紀夫 副委員長：横井祐一）  
担当①「大イベント」（責任者：大藪由紀夫 委員：酒井大輔・亀井寿子）  
シンポジウム計画：加藤和雄・鳥居佳則  
全体プロデュース、折衝：平井 充・不破淳二  
(EX:西川せいじパースペクティブ個展、

パーティ計画：深江章一・中川健司

②「デザイントリプレックス 10」

(責任者：大藪由紀夫 委員：丹羽浩之、坂井芳宣)

③「北陸デザインフォーラム 2014」 (委員：木村嘉秀)

④「名商+CCDO 事業」 (責任者：横井祐一 委員：吉田雅信、種田正人)

■交流委員会 (委員長：深江章一 副委員長：中川健司)

担当①「中部支部総会パーティ」

②「大イベントパーティ」

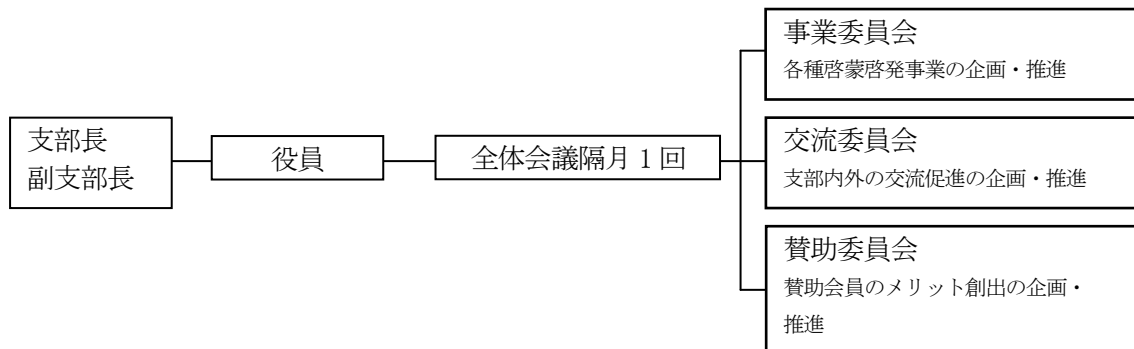
③「新年会」

■賛助委員会

(委員長：種田正人 副委員長：西川せいじ 委員：望月公尋、山本真志)

担当①中部支部総会パーティにおける賛助会員の参加

②大イベントパーティにおける賛助会員の参加



●活動計画

①全体会議を隔月で開催 (開催時に次回の開催日を確定)

②中部支部の主な事業

<2013 年>

4 月 20 日 (土) 「奥多治見遠足会」

- ・日本色彩学会くらしの色彩研究会と JCD 中部支部篤志の遠足。  
アルティストビラージュ等見学

6 月 中部支部総会

- ・総会 | 基調講演 | パーティの 3 部構成  
(パーティは JCD 以外の方も招いて交流会としたい)
- ・シンポジウムは加藤和雄氏計画。関連して JCD 中国支部と縁が深い他団体、企業等とも  
ジョイントして壮大な発信、啓蒙、売り込みイベントとしたい

<2014 年>

2 月 「デザイントリプレックス 10」

- ・シンポジウム | 日本の空間デザイン展

2 月 「北陸デザインフォーラム」

- ・シンポジウム | 日本の空間デザイン展

③その他関連事業

イ) 中部デザイン団体協議会 (CCDO) ナイトトーク

ロ) 名古屋商工会議所+中部デザイン団体協議会 (CCDO) デザインなんでも相談

- セミナー+相談会 (毎月 1 回開催。JCD 中部支部は 5~7 月担当)

先兵隊として、5 月平井、6 月横井、7 月丹羽

- 「メッセナゴヤ」 (11 月) 名商+CCDO

デザインなんでも相談「それはデザイナーに聞け」

- ・4 日間を通して会場で無料相談。昨年度は 40 件の相談があり実際に仕事に発展もあり

## 関西支部（支部長：長町志穂）

### ■ 25年度の取組みにあたって

- ・「JCD 関西の見える化」「デザインによる社会貢献」を2大柱とする活動の実施
- ・役割分担の明確化（全員分担への再トライ）
- ・会員と賛助企業メリットの見える化

### ■ 活動内容（案）

#### 1. 社会貢献による「見える化」事業の実施

■ SODA 事業「子供たちとのワークショップ 2013」（8/24 予定）

■ 公共イベントへの参画 1（水都大阪 2013 等 10 月予定）

■ 公共イベントへの参画 2（内容未定・あかりイベントを予定）

子供たちへのデザインワークショップや地域活性化イベントでのワークショップへ団体として参画し会員のデザインスキルと賛助企業の材料支給による団体力を活かした社会的活動を実施。賛助企業をスポンサー表記するなど、賛助企業メリットも強化する。

#### 2. 本部事業・他団体共催事業を利用した支部活性化と懇親

■ 関西学生シンポジウム（秋）

■ 日本の空間デザイン展（冬）＋トークイベント

■ 大阪デザインサロン（時期未定）

定例化しているイベントをさらに発展させ利用し、その機会を利用した会員懇親をはかる。

#### 3. 情報発信の強化（Facebook, HP, JCD 関西誌）

Facebook：コンテンツの充実をはかる、発信頻度のアップ

Home Page：会員情報ページの新設、企業リンクの充実

JCD 関西誌：年間活動の集積としての年 1 回発刊を目指す

#### 4. 懇親イベントの実施

ビアパーティおよび新年会の実施、若手の委員長起用による活性化（上記イベントとの連携もはかる）

### ■ 組織（案）

- ・ SODA 委員会（子供 WS）8/24 中村委員長／衣笠
- ・ 見える化活動委員会（公共イベント WS 実施）10 月（7 月 or 2 月） 新任委員長／長町
- ・ 共催イベント委員会（本部および共催イベントの推進）10 月、12 月 末浪
- ・ Facebook 委員会（Facebook コンテンツの充実・運用） 大東委員長／長町
- ・ アーカイブ委員会（HP の充実） 3 月完成 岡島委員長／白井
- ・ 交流委員会（懇親会の企画運営） 8/24、1 月、その他適時 新任委員長／白井
- ・ 賛助委員会（賛助企業の取りまとめ） 蒲委員長／衣笠

## 中国支部（支部長：深田勝哉）

今年の活動方針は、「魅力ある JCD 中国支部」をテーマに掲げ、会員・賛助会員、相互の親睦を図りながら支部活動を盛り上げていきたいと考えています。そして、新入会員獲得につながる魅力ある支部活動の中心となるのは「広島デザインデイズ」、現在は広島を中心としていますが、平和都市広島をテーマに、世界に飛び出していけるイベントとして育てていきたいと考えています。

このイベントが、支部の活性化、会員・賛助会員のモチベーションアップ、新規会員の獲得につながる事を目標に活動したいと考えています。

### ● 25年度活動予定

- 4 月 JCD 中国支部総会 委員会編成 25 年度スケジュール確認 福山市内  
第一回 広島デザインウィーク 2013 準備委員会 全体会議
- 5 月 第二回 広島デザインウィーク 2013 準備委員会 広島市内

- 25年度総会への参加 黒川温泉
- 6月 第二回 中国支部例会 岡山市内  
 第三回 広島デザインウィーク 2013 準備委員会 全体会議 広島市内
- 7月 第四回 広島デザインウィーク 2013 準備委員会 広島市内
- 8月 第三回 中国支部例会 (中・四国合同例会) 高松市内  
 サマーパーティー HICA・JCD・SDA・学生 参加 広島市内  
 第五回 広島デザインウィーク 2013 準備委員会 全体会議 広島市内
- 9月 第六回 広島デザインウィーク 2013 準備委員会 全体会議 広島市内
- 10月 第四回 中国支部例会 広島市内  
 広島デザインデイズ開催 3日間 広島市内
- 11月 広島デザインウィーク 2013 準備委員会 (25年度の反省会)
- 12月 第五回 中国支部例会 福山市内  
 中国支部忘年会 福山市内  
 クリスマスパーティー HICA・JCD・SDA・学生 参加 広島市内
- 1月 デザイナー交流会 JCD「鍋塾」 山陰 山陰エリア
- 2月 第五回 中国支部例会 岡山市内  
 2013年 広島デザインウィーク準備委員会 広島市内
- 3月 中国支部研修会 (中・四国合同研修会) 場所未定

#### 四国支部 (支部長: 香川真二)

- 4月 例会 花見 4月6日  
 デザインアワードパネル展示 (設営4月6日、開催4月7日~4月14日)  
 女木島ビーチアパートにて 会員レポート  
 関連団体との交流 瀬戸内国際芸術祭 2013 参加協力 4月21日まで
- 5月 委員長会 九州総会参加  
 関連団体との交流 高松うみあかりプロジェクト参加協力
- 6月 例会 ミラノサローネレポート 会員レポート
- 7月 委員長会 デザインアワードパネル展示開催(会期1週間?検討中)  
 関連団体との交流 瀬戸内国際芸術祭 2013 参加協力 7月20日から9月1日まで
- 8月 例会 中四国支部合同例会 瀬戸内芸術祭美術館研修 会員レポート
- 9月 委員長会
- 10月 例会 愛媛県会員と香川県会員との交流例会 会員レポート  
 関連団体との交流 瀬戸内国際芸術祭 2013 参加協力 10月5日から11月4日まで
- 11月 委員長会
- 12月 例会 (忘年会) 会員レポート
- 1月 委員長会(新年会)
- 2月 委員長会 来年度行事予定作成 会員レポート
- 3月 例会 中四国支部合同研修(検討中)  
 ・現会員のレベルアップ及び新規会員の増員  
 ・瀬戸内国際芸術祭 2013 参加協力  
 ・SODA【芸術士のいる保育所】に参加検討中

#### 九州支部 (支部長: 金子洋伸)

- 4月15日 月例会 (総会準備)
- 4月18日 黒川温泉夢龍胆打合せ
- 5月 FDL 理事会&総会
- 5月24日~26日 JCD 定時総会及び関連イベント
- 6月 九州支部総会&総会反省会
- 7月 デザインスクールキャラバン委員会
- 9月 デザインスクールキャラバン (15回目)



11月	JCD デザインアワード展&SDA 賞展合同パネル展
12月	福岡デザイン界大望年会
12月	九州支部忘年会
1月	九州支部新年会

(社)日本商環境設計家協会は今年4月1日に一般社団法人日本商環境デザイン協会として再発足しました。その第1回定時総会を九州支部が担当し、黒川温泉で開催致します。

JCD九州支部は総力を上げて皆様をお迎えし、満足の3日間になるよう頑張ります。

九州支部の活動は永年NPO法人FUKUOKAデザインリーグ活動を中心に行ってまいりました。特にデザインスクールキャラバンは今年15回目を迎えます。この事業は本部の「SODA事業」の発足を促し、今では全国にSODA活動の輪が広がっており、JCDの社会貢献活動の中心的役割を担っております。他に昨年からスタートしました福岡市土木局の「イメージアップアドバイザー事業」も深町業務委員長が参加し実績ができてつあります。

また、昨年発足したFUDA(福岡デザインアクション)は一般社団法人としての認可を受けました。活動としてはデザイナーアーカイブとして人や施設などデザイン業界の歴史財産の整理を始めました。詳しくはFUDAのHPをご覧ください。九州支部として今後FUDA活動にも積極的に参加してまいります。

新生九州支部は交流・研究・業務の3委員会構成され、エネルギッシュな40代の委員長、副委員長を中心に活動の幅を広げ、社会貢献だけではなくビジネスチャンスをも視野に入れた活動を行ってまいります。

#### 沖縄支部(支部長:平良玄峰)

今年度の事業方針

テーマ:(仮)JCD沖縄支部の告知活動

沖縄支部発足から1年が経過しましたが、沖縄での認知度が低いJCDを多くの方に知ってもらい、今後の活動や会員拡大に繋がる告知活動のイベントを開催する。

##### 1:ペチャクチャナイトにて異業種交流会

沖縄支部会員数名も既に出演した経験がある宜野湾市のコトノハ主催のペチャクチャナイトをJCD沖縄支部主催でコトノハがオーガナイズというかたちでイベントを開催して、異業種との交流やJCDの告知活動とする。(平良にてコトノハ側と事前確認調整済み)

##### 2:サマーフェスタ開催

ワークショップの一環も兼ねて、学生ボランティアを募り、仮設建築デザイン(例えば海の家)と一緒にデザインして創作して、ビーチパーティ+αのイベントとする。

##### 3:SODAのワークショップ活動の継続。

昨年、一昨年と続いているSODAの活動を続けていくのですが、今回から学生ボランティアや会員のスタッフも募り、少しずつ生徒数の多い学校へのアプローチを図る。

告知活動として、手始めに沖縄支部のホームページを作成したものの、外注する予算も無く支部会員での更新となる為、何も更新できてない状況です。

ホームページ運営に関して、専門知識が必要で会員による更新が容易ではないので、会員でも手軽に更新が出来て、ネットワーク拡大やアクセス解析がホームページより容易なJCD沖縄支部のFacebookとブログを立ち上げて支部会員で運営していくというところまで話は進んでいましたが実行できず、25年度の活動で実行していく予定となっています。

### 3. その他の会務に関する件

#### (1) 功労賞表彰

平成25年度功労賞を以下の方々に贈呈することを決定した。

特別功労賞受賞者

井上 秀美 会員  
金沢 明彦 会員

支部功労賞受賞者

佐藤 利明 会員（北海道支部）  
小田切 純子 会員（関東支部）  
玉井 美歌男 会員（関東支部）  
三好 輝昌 氏（関東支部）  
故 三嶽 穂積 会員（関西支部）  
東原 淳夫 会員（四国支部）

(2) 関係機関や団体との交流、その他の事業へ後援や協賛など

社団法人商業施設技術者・団体連合会や空間デザイン機構への運営参加、新規事業及び継続して行われる各事業の後援、協賛を通し積極的かつ実のある活動を目指す。